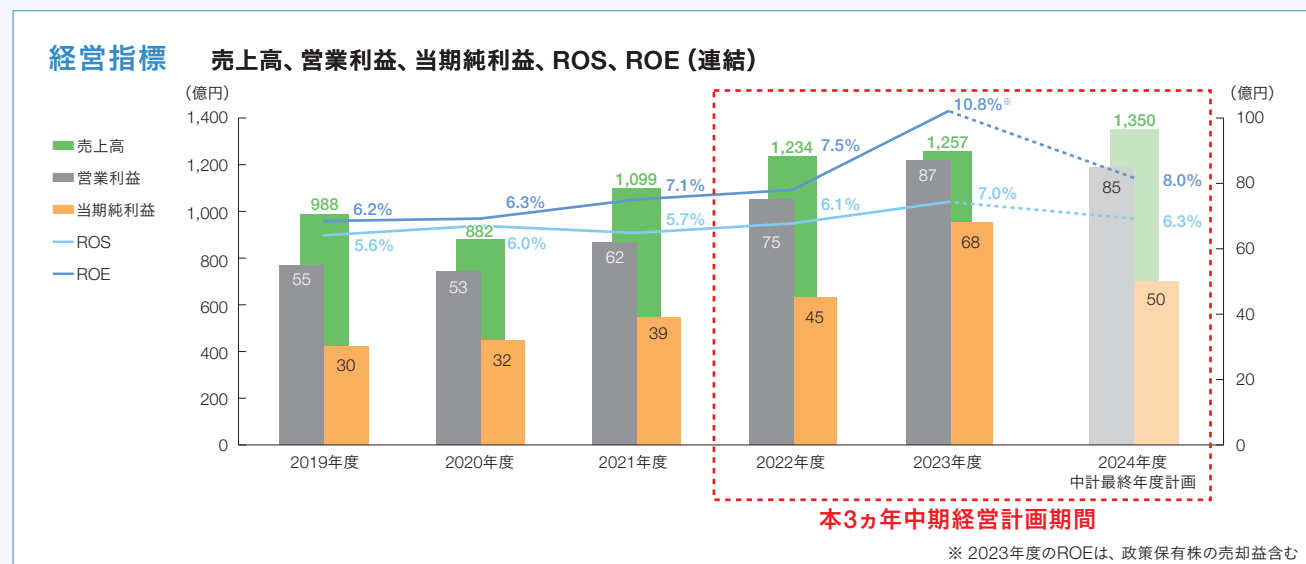


価値創造の全体像

中期経営計画

2022年度より始動している3ヵ年中期経営計画では、「Challenge Now for Change New 2024 変革への挑戦」を経営方針とし、長期ビジョンで掲げている「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」を実現するために取り組みを進めています。

本3ヵ年中期経営計画では、経営指標の実現に向けて4つの戦略を推進し、計画の完遂に向けて全社員が一丸となって邁進しています。



進捗状況

本3ヵ年中期経営計画では、従来事業の強みをさらに伸ばさせるための2つの戦略、そして将来に向けた成長・発展のための2つの戦略、計4つの基本戦略を掲げています。2年目である2023年度においては、1年目で強化した組織体制・仕組みを通し、各戦略に基づいた具体的施策の実施に注力しました。

戦略の1つめ「グローバル経営の深化とシナジー」については、グローバル横串運営の強化の一環として、国内拠点と海外拠点が参加するグローバル営業会議/製造会議を開催し、情報共有・改善策の早期立案、人材のレベルアップに努めました。また、ASEANを中心に、新工場の稼働や新ラインの増設を行いました。国内外における生産体制の強化を今後も進めていきます。

戦略の2つめ「顧客の期待の先を行く」では、主要顧客との技術交流会を通して潜在的なニーズの発掘を行いました。また、営業支援、研究開発体制の充実・強化を図るための

システム導入を実施し、ソリューション提供のスピードアップを着実に進めました。

戦略の3つめ「新規事業/新製品への挑戦」では、技術本部・新規事業開発準備室によるオープンイノベーションの取り組みが進捗しました。新製品では、アレル物質低減製品「リケガード®A」、加硫ゴム代替動的架橋型熱可塑性エラストマー、リサイクル硬質塩化ビニル用改質材を開発しました。

戦略の4つめ「環境/社会課題解決への貢献」では、環境対応製品の開発・普及に加えて、CO₂排出量削減への取り組みを加速させるべくインターナルカーボンプライシング(ICP)制度を導入しました。また、人権方針の策定、女性活躍推進をテーマにしたプロジェクトの発足と経営層への提言を行うなど、当社グループのサステナビリティに係わる活動を推進しました。

最終年度となる2024年度は、4つの戦略の完遂に向け、グループ一体となって各種施策に取り組んでいきます。

4つの戦略

事業の強みを伸ばすための戦略

戦略1 グローバル経営の深化とシナジー

- ASEANを重点地域とし、圧倒的なシェア獲得とトップシェア分野の拡大
- グローバル日系企業・ローカル非日系企業との取引の拡大
- グローバル企業としての確固たる礎の確立
- 各本部によるグローバル横串運営の更なる強化

戦略2 顧客の期待の先を行く

- 当社の強み/ビジネスモデルをさらに強化・発展
- 市場分析による潜在的なニーズを先回りした開発提案営業
- ソリューション提供速度の向上（研究開発体制の再編、DXの活用）
- フィルムビジネスユニット創設による顧客対応力の向上

将来に向けた成長のための戦略

戦略3 新規事業/新製品への挑戦

- 地理的拡大・顧客ニーズの対応にとどまらない新たな事業の柱の構築
- 当社技術の強みをフル活用できる体制の構築、研究開発力の強化
- 人材の多様性確保を通じた新たな発想の創出
- 新規事業/新製品が生み出される体制・手法・文化の再構築

戦略4 環境/社会課題解決への貢献

- 環境対応製品の開発・普及
- サステナビリティ推進体制および各種活動（気候変動、サーキュラーエコノミー、人権問題、ダイバーシティ、社会貢献等）の強化
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

4つの戦略を支える施策

大きく5つの取り組みに力を入れていきます。

- ① 製造設備への投資
- ② 知財・研究開発への投資
- ③ 業務の効率化・労働環境整備のためのDX投資
- ④ 人的資本への投資
- ⑤ ガバナンス体制の強化

特に④人的資本への投資については、「人の成長こそ企業の成長」という考えに則り、従業員一人ひとりの成長を促すとともに、多様な人材が活躍できる職場環境・企業風土を築いていきます。